

最新のネットワークカメラは、さまざまな遠隔観測で活躍しています。一番実績をあげたのが、ムササビの生態観察です。ムササビは完全な夜行性動物なので、弱い光線でも活動を観察できる、最新式のネットワークカメラは非常に威力を発揮します。今回のムササビの営巣でも、森を飛ぶ親ムササビの様子を連日記録に残すことができました。更に、天体の動きや、虫の観察にも利用できることがわかりました。鳥類や小動物の動きも、東京から観察できます。

最近はリスの観察をしています。山荘の裏庭に3匹のリスがいます。体の大きさも、行動場所も似ているので、恐らく兄弟姉妹のリスでしょう。何日か観察していると、森の中にお気に入りの場所があることがわかりました。カラマツにからみついている蔓性樹木の上です。ここにカメラをアップにしておくと、午前中に何度もリスが休んだり、遊んだりする姿が映ります。リスの動きはすばやいのですが、カメラも非常に機敏なので、遠隔でも追いかけることができます。

(2024年5月上旬／北軽井沢／遠隔観測)

